

川上村木匠塾 2014 半割リンク

～参加大学～ 大阪工業大学 大阪芸術大学 近畿大学 清見園立大学 摂南大学 奈良女子大学

私たち研究室は毎年、川上村木匠塾という活動に参加しています。
関西の建築系の学生・教員と奈良県高野郡川上村が連携し高野の関伐材を利用して頂き、美しい制作物をつくり、川上村に還元するワークショップです。
今年の制作物はホテル杉の湯から見える高野の目隠し・花壇の作成と匠の家の見立、薪の目隠しと十二社神社のベンチの作成を行いました。大阪工業大学は昨年、高野の目隠し・花壇を担当しました。

Program 1

1 敷地調査・要望

～村からの要望～

倉庫
宴会場と5階客室から見える。昨年の形の継承。
特定の倉庫に対しての施工を断るではない。将来的に買い替えることを前提としなくてもよい。

花壇
新たに花を植えてもよい。花壇は来年でもよい。

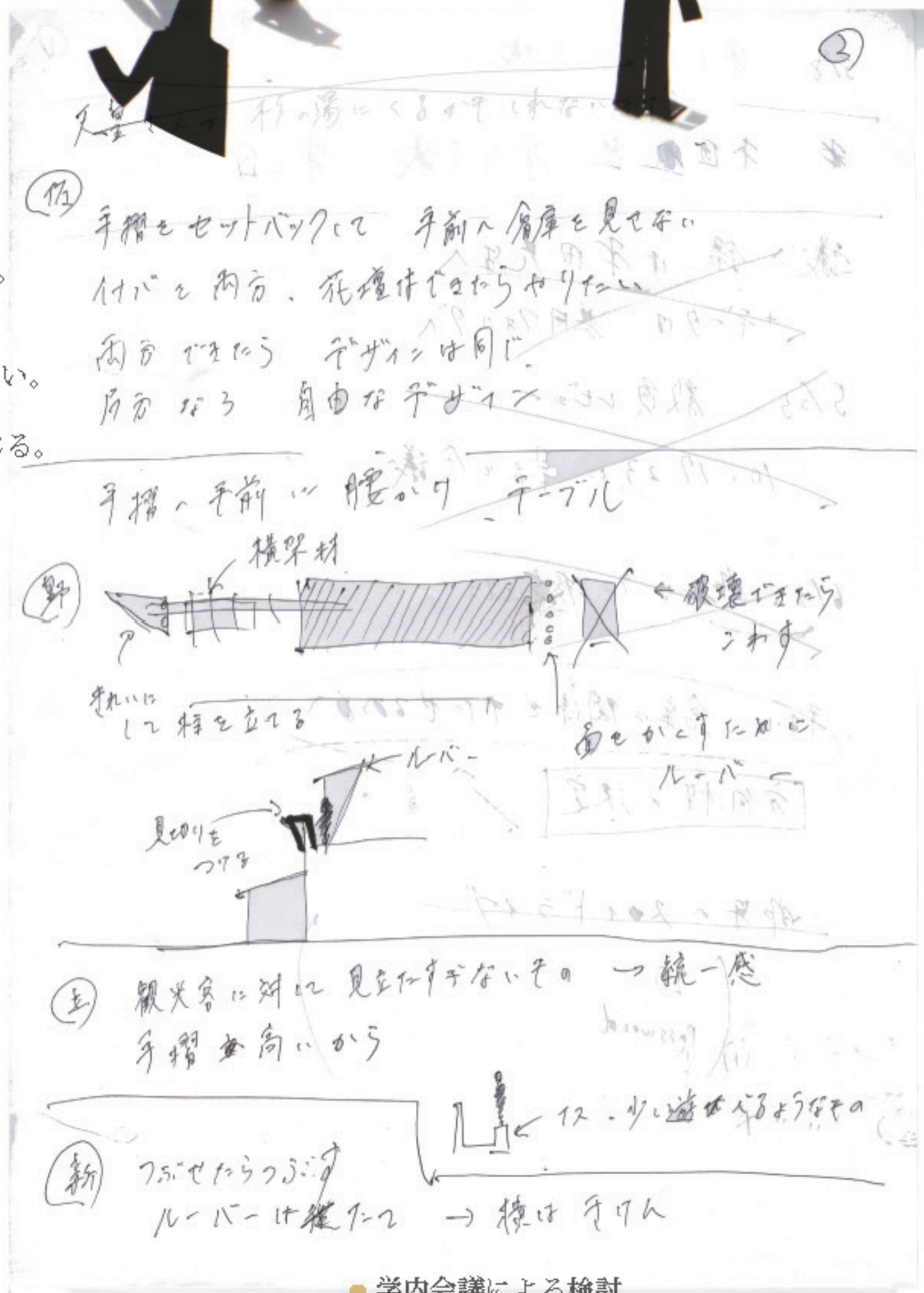
3 基本設計

道の駅として大阪工業大学、滋賀県立大学の共通意識として倉庫は昨年からの・シンプルに固す・ゴテゴテしない・丸太の良さ・本数を少なくするという要点に、今年新たに昨年のものと一体性を持たせることを加え、花壇は・既存のものより面積を増やす・作業効率を考慮するという要点で各大学スタディを進めていくことになった。

4 教員レビュー

～1回目～
昨年と異なり、柱を立てて荷重を支えることが重要。新しいデザインの提案になっていない。多数の大学でやっている利点を生かしていない。視野を広げ、若人だからその計画、提案をしてほしい。

～2回目～
左側の倉庫の目隠しのピッチが右の倉庫に比べ弱く感じる。構造的に安易。施工に関しては無敵が無い。



●学内会議による検討

Program 2

Day 1

7 倉庫：墨付け、半割り加工

小口から100-160mm削し、それ以外を半割りにするため墨付けを行い、出来上がった材から製材所で加工を行った。

Day 2

8 倉庫：フレーム施工

3種の異なる製材を組み合わせてフレームをL字、T字金物、ボルトを組み合わせて施工。

Day 3

9 倉庫：横架材留め 花壇：墨付け

折半屋根に屋根材の荷重を负担させないように105×105の製材を載せ既存のボルトと接合。

Day 7

12 完成

5 詳細設計

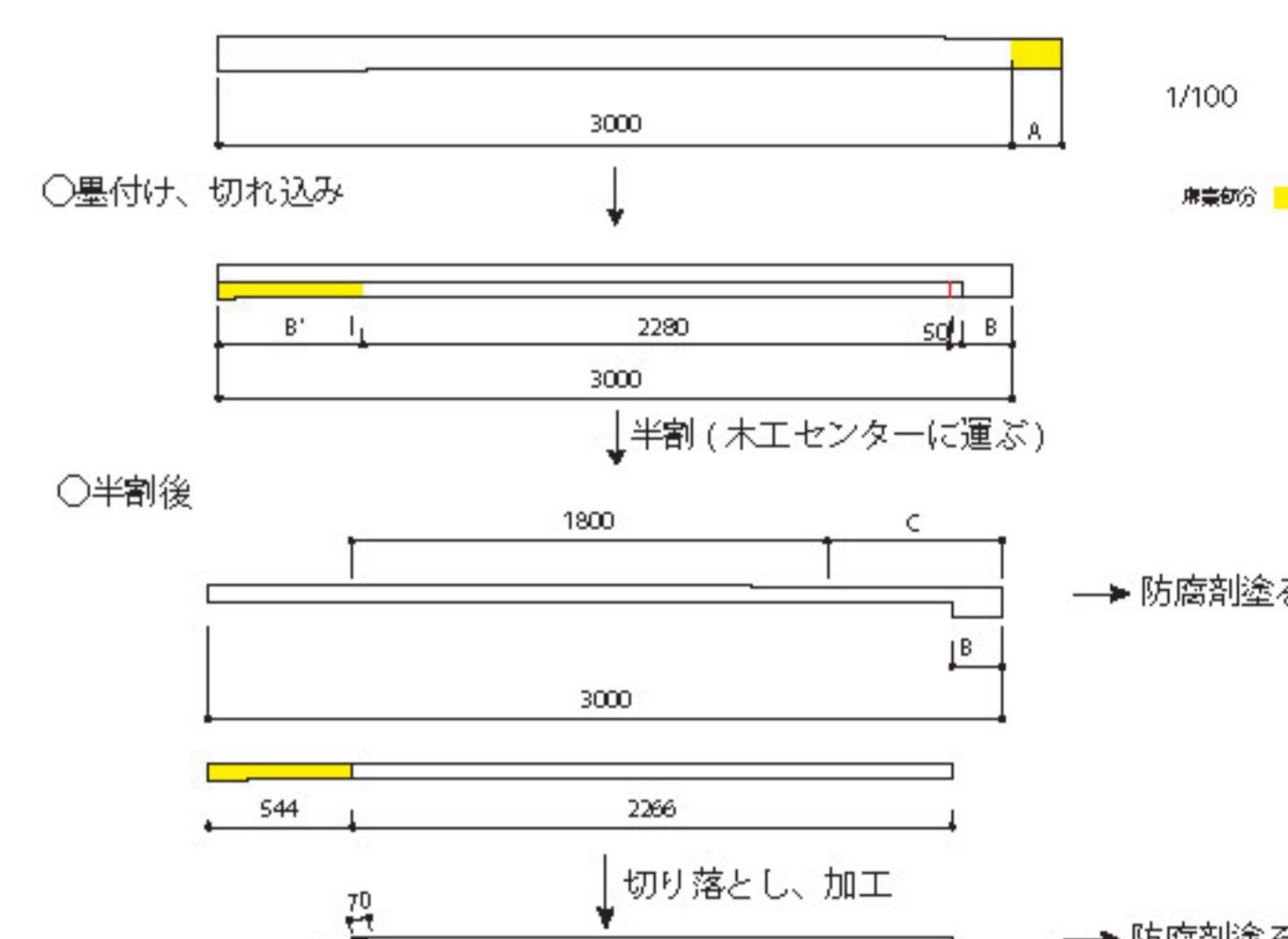
倉庫
意匠面は昨年のものを継承しつつ、側面にも半割りを接合し筋交いの役割を同時に果たす。地面に直接施工することができないため、柱、梁を倉庫足元のH形鋼に荷重を负担させる。

花壇
倉庫の側面の半割りに流れるような位置、デザインにし、一体性を図る。丸太に鉄筋を通し、ボルトで締めることにより、強固にする。

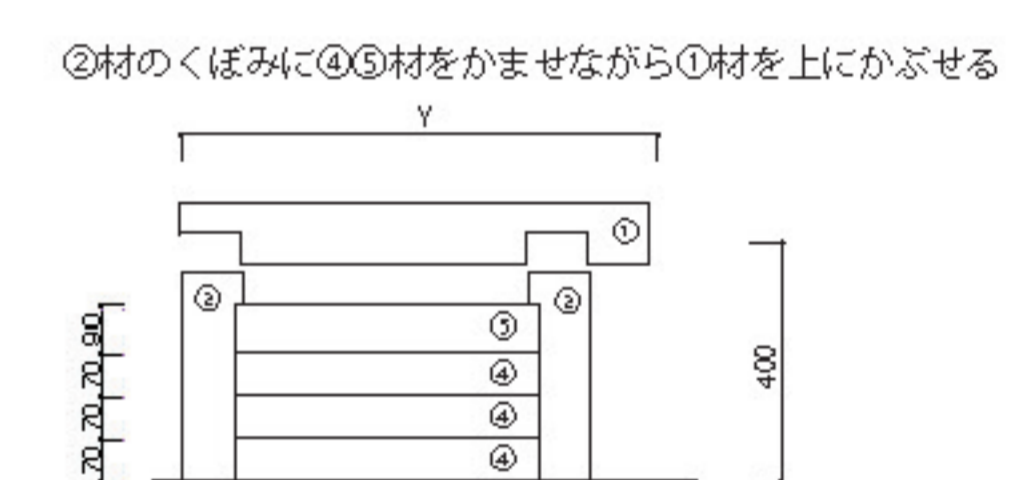
●スタディ案の意見交換



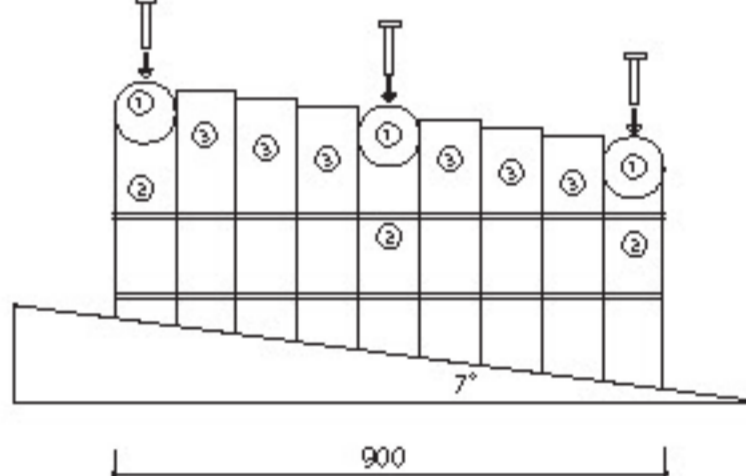
6 実施図面作成



●半割りをする部分の図面



●花壇の接合の図面



Day 6

Day 5

11 倉庫：屋根材と前面材接合 花壇：前面材同士をボルトで接合 横架材に屋根材を接合したあと前面材を角度を合わせながら土台と共に接合する。

Day 4

10 花壇：材加工、穴空け

Day 5

11 倉庫：屋根材と前面材接合 花壇：前面材同士をボルトで接合 横架材に屋根材を接合したあと前面材を角度を合わせながら土台と共に接合する。

